

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 3 日 (2014.7.3)

【公開番号】特開 2012-250507 (P2012-250507A)

【公開日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2012-054

【出願番号】特願 2011-126614 (P2011-126614)

【国際特許分類】

B 4 1 J 5/44 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 5/44

G 0 6 F 3/12 G

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 19 日 (2014.5.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フロントデータを記憶する記憶部と、

コマンドを受信する受信部と、

前記受信部で 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドを受信した場合、前記文字列が記録される行の印字領域幅を調整し、前記行の前記フロントデータに応じた文字の記録可能桁数を調整して、前記フロントデータに基づいて記録する記録実行部と、

を備えることを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記コマンドが、記録解像度が異なるヘッドを備える他の記録装置に記録させる 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドである場合、

前記記録実行部は、

前記他の記録装置との記録解像度の相違に基づいて、前記印字領域幅を調整する請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記コマンドが、前記フロントデータのフォントサイズと異なる第 2 のフロントデータを記憶する他の記録装置に記録させる 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドである場合、

前記記録実行部は、

前記記憶部に記憶された前記フロントデータのフォントサイズと前記他の記録装置が記憶する前記第 2 のフロントデータのフォントサイズとの相違に基づいて、前記印字領域幅を調整する請求項 1 又は 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記記録実行部は、前記行の中央部に、調整した前記印字領域幅に係る印字領域を配置する請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記記録実行部は、前記フロントデータに応じ、前記行の左マージンと右マージンのい

ずれかを調整して、前記印字領域幅に係る印字領域を配置する請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 6】

フォントデータを記憶し、

1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドを受信し、

前記文字列が記録される行の印字領域幅を調整し、

前記行の前記フォントデータに応じた文字の記録可能桁数を調整して前記文字列に対応する前記フォントデータに基づいて記録することを特徴とする記録装置の制御方法。

【請求項 7】

フォントデータを記憶する記憶部と、コマンドを受信する受信部とを備える記録装置を制御する制御部により実行されるプログラムであって、

前記制御部を、

前記受信部で 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドを受信した場合、前記文字列が記録される行の印字領域幅を調整し、前記行の前記フォントデータに応じた文字の記録可能桁数を調整して前記文字列に対応する前記フォントデータに基づいて記録する記録実行部として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記目的を達せするため、本発明の記録装置は、フォントデータを記憶する記憶部と、コマンドを受信する受信部と、前記受信部で 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドを受信した場合、前記文字列が記録される行の印字領域幅を調整し、前記行の前記フォントデータに応じた文字の記録可能桁数を調整して、前記フォントデータに基づいて記録する記録実行部と、を備えることを特徴とする。

また、本発明の記録装置は、前記コマンドが、記録解像度が異なるヘッドを備える他の記録装置に記録させる 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドである場合、前記記録実行部は、前記他の記録装置との記録解像度の相違に基づいて、前記印字領域幅を調整する。

また、本発明の記録装置は、前記コマンドが、前記フォントデータのフォントサイズと異なる第 2 のフォントデータを記憶する他の記録装置に記録させる 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドである場合、前記記録実行部は、前記記憶部に記憶された前記フォントデータのフォントサイズと前記他の記録装置が記憶する前記第 2 のフォントデータのフォントサイズとの相違に基づいて、前記印字領域幅を調整する。

また、本発明の記録装置は、前記記録実行部は、前記行の中央部に、調整した前記印字領域幅に係る印字領域を配置する。

また、本発明の記録装置は、前記記録実行部は、前記フォントデータに応じ、前記行の左マージンと右マージンのいずれかを調整して、前記印字領域幅に係る印字領域を配置する。

また、本発明の記録装置の制御方法は、フォントデータを記憶し、1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドを受信し、前記文字列が記録される行の印字領域幅を調整し、前記行の前記フォントデータに応じた文字の記録可能桁数を調整して前記文字列に対応する前記フォントデータに基づいて記録することを特徴とする。

また、本発明は、フォントデータを記憶する記憶部と、コマンドを受信する受信部とを備える記録装置を制御する制御部により実行されるプログラムであって、前記制御部を、前記受信部で 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドを受信した場合、前記文字列が記録される行の印字領域幅を調整し、前記行の前記フォントデータに応じた文字の記録可能桁数を調整して前記文字列に対応する前記フォントデータに基づいて記

録する記録実行部として機能させることを特徴とする。

また、上記目的を達成するために、本発明は、制御装置に接続可能な記録装置であって、フォントデータを記憶する記憶部と、前記制御装置からコマンドを受信する受信部と、前記受信部により前記制御装置から 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドを受信した場合、当該文字列が記録される行における印字領域幅を調整することにより、当該行における前記フォントデータに応じた文字の記録可能桁数を調整した上で、当該文字列に対応する前記フォントデータに基づいて記録する記録実行部と、を備えることを特徴とする。

ここで、文字とは、言語で使用される意味を持った文字のみならず、記憶部に記憶されたフォントデータに基づいて記録可能な図形（スペースを含む）の全てを指す概念である。

そして、上記構成によれば、制御装置から 1 又は複数の文字を有する文字列の記録を指示するコマンドを受信した場合、当該文字列が記録される行の印字領域幅を調整することにより、当該行におけるフォントデータに基づく文字の記録可能桁数を調整した上で、当該文字列に対応するフォントデータに基づいて記録を行うため、交換の前後で記録可能桁数を一致させることが可能となる。特に、プリンター側で、自動で、記録可能桁数の調整を行う構成のため、記録可能桁数を一致させるために制御装置に何らかの改変を加えたり、記録に係る各種設定を調整したりする必要がない。